

### 中高生の活躍は地域の元気の源

#### 取組の背景・目的

世田谷区児童館は中高生世代のそれぞれの「成長」に応じた自立に向けて応援する中高生支援事業を行っています。日常での中高生との関りを大切にしながら、中高生世代の意見を取り入れた「TEENSプロジェクト」地域事業の応援を通じて社会参加への関心を促す地域交流活動など取り組んでいます。

近年のコロナ感染対策期間は活動や体験の機会が制限され、交流の機会も減少しました。それに伴うリスクは中高生だけでなく子ども達の成長に様々な影響として表れているのではないのでしょうか。また、子どもたちをとりまく環境はますます多様化し変容しています。

コロナに伴う制限が緩和され児童館の活動も再開する中で、鎌田児童館では引き続き日常活動を大切にしながら、中高生が多世代との交流を通して様々な場面で活躍できる企画行事について、中高生と会話し意見を取り入れながら再考しました。

#### 取組の概要

6月の「TEENSプロジェクト作戦会議」で日頃児童館を利用している中高生が集まり、会話の中から中高生事業でやってみたいことや児童館の行事で応援したいことなどを出し合いました。中高生世代が関わり支えた令和5年度の事業の一部を紹介します。

##### ▷ 「児童館サマーキャンプ」(7月)

参加者として野外活動を楽しみ、職員と一緒にキャンプファイヤーなどを企画運営しました。

##### ▷ 近隣小学校「こどもまつり」(10月)・「児童館まつり」(11月)

地域連携「多摩川であそぼう」(11月)

各コーナーの担い手となって事業を盛り上げ、小学生や地域の方と多世代交流を行いました。

##### ▷ 「児童館対抗ドッジボール大会」(12月)

小学生の練習相手となって職員と一緒にチームのレベルアップを図り、大会当日も応援隊として参加しました。



## 工夫点・留意点

### 日常の関りを大切にする

中高生との何気ない会話の中で、学校、家庭、友人関係などの悩みや熱中していることなどを共有しながら関係を築き、児童館は自分らしくいられる場所として、職員は安心できる身近な大人としていることを心がけ、それを基盤としています。

### 活動を通じた多世代交流

職員は中高生が主体となって事業に参加できるよう促し、中高生が楽しめる企画だけでなく様々な世代が参加し中高生が活躍できる場の設定も実現できるよう支援しています。

### 多様な内容の設定

イベントや行事は児童館事業に参加するツールの一つです。それをきっかけに児童館を利用しながら自分の得意なこと、好きなこと、はまることを見つけられるよう、音楽やスポーツ、作って食べること、野外活動など様々な個性の人が楽しめるよう企画しています。

## 取組の効果

中高生世代は児童館や地域活動に主体的に参加することで、自分が好きなこと、得意なことなど「自分の強み」を見出したり、地域貢献の実感が自信となったりする中で、自己肯定感につながっているのではないのでしょうか。

また、コロナ禍で途切れた交流の機会や人と人との関係を再構築する事業の取り組みの中で、中高生の生き生きとした姿は明るいパワーとなって周りに伝わり、交流の輪が広がっています。地域の皆さんや職員の大きな励みとなりました。

## 課題・今後の展開

こども基本法では子どもの最善の利益など、子どもの権利が基本理念として打ち出されています。今後も子どもを真ん中にした地域社会のために、子どもたちのニーズに応じた地域の居場所の相互連携と見守り支援する体制の継続に取り組みます。

